

MUSASHINO MUNICIPAL ASSEMBLY

武蔵野市議会だより

No.320

発行日 平成18年(2006年)11月1日

発行 武蔵野市議会
東京都武蔵野市緑町2-2-28
TEL 0422-60-1883(直)
FAX 0422-55-7555

CONTENTS

- 決算特別委員会審査概要 ……2-3面
- 決算に対する各会派の討論 ……3面
- 一般質問 ……4-5面
- 議案の審議結果一覧 ……6面
- 政府等への意見書、決議 ……6面
- 陳情審議結果 ……6面
- インターネット議会中継 ……6面

第三回 市議会定例会

九月六日から開かれた第三回定例会は、九月二十九日に閉会しました。今議会では、平成十七年度の決算の認定を初め、継続審議となっていた市長の退職金を削減する議案一件を加えた計十六件の市長提出議案が議決されたほか、戸籍情報システムの安全性に関する意見書など計四件の議員提出議案が議決されました。また二十一人の議員が一般質問を行うなど、活発な議論が交わられました。

平成十七年度決算を認定

平成十七年度の決算が九月二十九日の本会議において全会一致で認定されました。「平成十七年度武蔵野市決算の認定について」と「平成十七年度武蔵野市水道事業会計決算の認定について」の二議案は、二十一日に設置された決算特別委員会に付託され、実質四日間の審査を行い、二十七日の委員会最終日では質疑・討論終了後、全会一致で認定すべきものと決しました。(二・三面に決算特別委員会審査概要を掲載)

インターネット議会中継(生継・録画中継)を配信しています

本市議会では、これまで行ってきた本会議中継(施政方針、代表質問、一般質問)を拡大し、平成十八年九月定例会より、本会議の全部、決算特別委員会(九月)、予算特別委員会(三月予定)のインターネット議会中継を配信しています(六面にインターネット議会中継ホームページについて掲載)。

二十九日の本会議では、両議案について、水野 学決算特別委員長が委員会で審査経過の報告を行い、質疑終了後、各会派の代表と会派に属さない議員一名の計七名が、いずれも賛成討論を行いました。討論終了後の採決の結果、両議案は全会一致で認定されました。

市長の退職手当を削減し 三分の一程度に

「他の特別職との整合を」 あわせて付帯決議を可決

九月二十一日の本会議で、「武蔵野市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例」が可決されました。

本条例案の主な内容は、現市長の任期にかかる退職手当の支給割合を在職一年につき三分の一程度にするもので、これにより四年の任期を務めた場合の市長の退職手当は、千七百二十万円から五百五十六万四千円になります。

本条例案は平成十七年十二月九日の本会議で総務委員会に付託され、平成十七年十二月十二日の委員会開催以降、継続して審査されてきました。審査の中で①削減の割合を三分の一程度とする根拠は②市長のみの削減では他の特別職の退職手当との均衡が崩れるのでは③削減を現市長の今任期のみに限るのはなぜか、などの質疑がありました。

結論を出した平成十八年九月十二日の総務委員会では、討論の後、全会一致で可決すべきものと決しました。その後、「他の特別職との整合を図るため、特別職報酬等審議会に諮問すること」との付帯決議が提出され、全会一致で可決されました。

九月二十一日の本会議では、総務委員長報告、討論の後、採決の結果、全会一致で可決されました。続いて付帯決議も全会一致で可決されました。

Photo Gallery

フォトギャラリー

市議会だよりは、市民のみなさんからの公募写真を1面に掲載しています。次回の応募要領については、6面をごらんください。



「初冬の雑木林」

撮影：齊藤 達直
(武蔵野市 73歳)

場所：境山野公園(境4丁目)
(2005.12.22)

境山野公園の雑木林は、自然の木立がそのまま残されている静かで地味な林です。この頃はこう云う自然の雑木林が少なくなりました。もう木々が葉を落した秋の終わった頃通りかかると、未だ枯葉が地面に溜って印象的でした。公園の落葉は直ぐ片付けられて味気ないですが、少しの間でも落葉の感触が得られて嬉しかったです。



審査概要

決算特別委員会は9月21日、委員11名からなる決算特別委員会を設置し、正副委員長を選出しました。決算の審査は、9月22日から27日までの実質4日間で行われました。一般会計及び4特別会計の歳入決算総額、889億3,325万円、同歳出決算総額、858億9,853万円、30億3,472万円が翌年度へ繰り越されました。また、水道事業会計の収益的収入及び支出(消費税等控除後)は、収入34億5,907万円、支出30億8,893万円、差し引き3億7,014万円の純利益となりました。

以下は各委員から、昨年度の予算執行について議論が行われた決算特別委員会の審査概要です。

総括質疑

より広い意味の市民参加を

問 邑上市長の言う市民参加は行政の場に市民を呼ぶ方式に偏っている。行政と直接かかわらない民間のまちづくり活動も含めるなど、より広い意味で市民参加を考えるべきではないか。

答 公募委員の枠をふやすとともに、NPOを含めた地域の市民活動をどのように支援していくべきかを考えたい。

問 主要な施策の成果に関する説明書では、吉祥寺や武蔵境と比べて中央ゾーンのまちづくりについて記述が少ないが、どう考えているのか。

答 三鷹駅北口は民間の開発計画もあるため、今後再整備計画を進めていきたい。

問 年次財務報告書を庁内でどのように活用していくのか。

答 各課に配布し職員のコスト意識の向上を図っている。また、複式簿記に基づく財務諸表について理解を深めるため、職員向けの研修を行なう予定である。

問 今後の武蔵野市職員の体制についてどのように考えるか。

答 市民サービスの低下を招かないのが大原則だが、可能な限り職員定数の削減に努めたい。

歳入

市税徴収率の向上を

問 稲城市は、*自動電話催告システムの導入等により、現年度の徴収率が二十六市で二年連続第一位となっているが、徴収率向上についての市の見解は。

答 他市の事例を参考にしながら、努力していきたい。

問 市税前納報奨金制度は、納付漏れを防ぐ等のメリットがあるが、復活する考えはないか。

答 納税意識の高まり、口座振替の普及等の理由から平成十年に廃止した。現状では制度を復活する考えはないが、今後の状況の推移を見ながら検討すべき課題であると考える。

総務費

市長の交際費 百万円の公費で交際できるのか

問 市長・市役所交際費について、会費の設定がある場合において公費を支出しない場合、市長は私費で支払っているのか。

答 その場合、私費で支払っている。ただし、飲食を伴う場合でも、挨拶だけの状況であれば、費用は負担していない。

問 中国、韓国の自治体との今後の交流のあり方について、どのように考えているのか。

答 基本的に、これまででなされてきた交流は、今後も続けていきたい。特に、若い世代を中心とした交流にしていきたい。

問 青少年活動育成事業について、ボランティアで熱心に活動している団体への助成額が少ない。ふやす考えはあるのか。

答 特に青少年の活動の場所が十分でないことが大きな課題だ。支援策を研究したい。

問 市立保育園は、私立幼稚園と比べ、児童一人当たりのコストがかなり高い。この不均衡を是正し、私立幼稚園に対する支援をふやす考えはあるのか。

問 吉祥寺ロンロン等、市が株主である団体に対して、有価証券の配当を求めているのか。また、経営改善を求める必要があると思うが、市の考え方を伺う。

答 配当を求めている。また、株主として経営に関して意見も言っている。

問 前年度に比べ、自然の村使料が増加した理由は何か。

答 台風の影響で利用者が少なかった十六年度に比べ、十七年度は利用者が多かったことによる。

問 *自動電話催告システム：事前に登録したデータ(電話リストなど)に決められた時間帯に、すべて自動で電話をかけていくシステムのこと。

民生費

杉並児童相談所の分室、市内への設置を求める

問 国基準では五十万人に一カ所となっている児童相談所だが、本市を管轄する杉並児童相談所は百一十万人を対象にしている。杉並児童相談所の分室を本市内に設置することはできないか。

答 児童相談所の役割の大きさは認識している。場所については工夫が必要だが、充実することについては都にも申し入れていきたい。

問 保育園や幼稚園を利用していない未就学児の割合を考慮し、西部地区にも0123施設をつくるべきと考えるが、見解は。

答 長期計画等でも位置づけられているが、今後市民会議等で議論いただいたものを踏まえて、実現について検討していきたい。

問 限られた慢性疾患の方に行っている緊急通報システム装置の貸与対象を広げるべきでは。

答 そのような要望があり、対象者の拡大については今後検討していきたいと考えている。

問 長期計画を踏まえ、研究していきたい。

問 中高年齢者雇用創出事業について、五千九百万円ほど執行されていないが、理由を伺う。

答 当初前年度比二十三名増を目標としていたが、実際は八名増にとどまったためである。

問 ご指摘の点は認識しており、今後は市民の健康づくりという視点から協力できることについて具体的に取り組んでいきたい。

問 市長はかつて、基本健康診査の委託費が高すぎると批判していたが、現在の見解は。

答 メニューが多く充実していると考えますが、内容は過剰にならないよう、医師会とも相談しながら常に見直しをしていきたい。

問 ごみ焼却や処理に関するコスト分析がしやすいデータ等を市民へ広く公開すべきでは。

答 今年八月から市のホームページで毎月のゴミ排出量や減量の取り組みのお願いなどを掲載している。今後も出来る限り発信したい。

問 喫煙マナーアップキャンペーンはかなり浸透してきたと考えるが、駅から離れた場所にもマナーポイントを設置していくべきではないか。

答 吉祥寺駅周辺の商店街等からは、路上禁煙地区の拡大の要望もあり、その方向で検討していきたい。

土木費

放置自転車の抜本的な対策は

問 放置自転車防止について抜本的な対策はあるか。

答 抜本的には厳しいが、放置防止指導員の増員、クリーンキャンペーンの実施、公共交通機関利用促進のPRを図っていく。

問 二俣尾自然体験館を今後どのように活用していくのか。

答 現在までイベントを五回行っているが、今後、市民、庁内での利用をPRしていきたい。

問 吉祥寺南町で行った市の建築確認は違法との建築審査会の裁決について見解は。

答 建築審査会の裁決は正しいものと受け止めている。

問 吉祥寺駅南口暫定広場用地の購入の進捗状況は。

答 現在、二十六・一パーセントで平成十七年度と変化はない。

消防費

防災無線の訓練のPRを

問 防災無線の訓練について、市はPR活動等を行っているか。

答 地域主体の訓練であり、地域への広報、周知を行っている。ブロック塀等改善補助金について伺う。

問 危険と認められたブロック塀の所有者に、一メートルあたり六千円で、八十メートルを上限に補助する。

農業・商工費

路線商業活性化 未加入店対策を

問 路線商業活性化懇談会提言書の中で、商店会未加入店対策として、条例化の研究が提言されているが、現在の取り組みは。

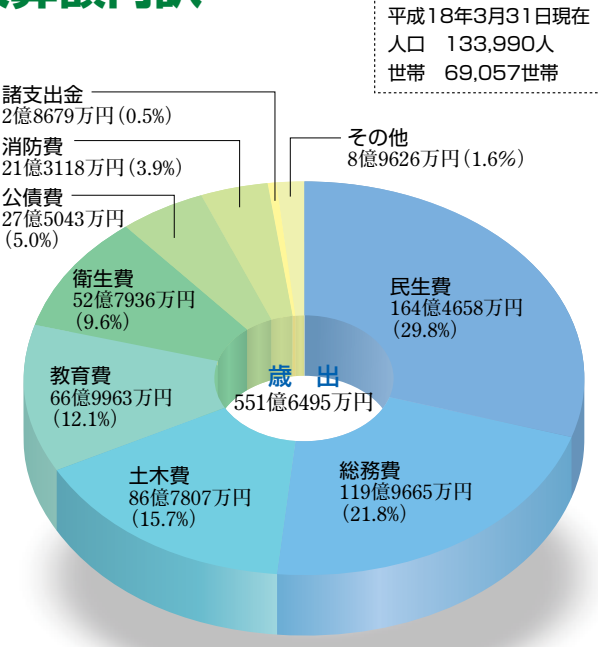
答 商店会の組織力強化など、先に取り組むべきことを行っている。条例化について検討する予定である。

問 農業振興基本計画の改定に関して、都市農業に対する市の

衛生費

健康づくり支援センター 今後の見通しを問う

問 健康づくり支援センターは



決算額内訳

決算特別委員会



水野 学 決算特別委員長

審査した特別委員

平成17年度決算審査に当たった特別委員の氏名は、次のとおり。

- ◎水野 学 ○やすえ清治
- きくち太郎 島崎 義司
- 小野 正二 本間まさよ
- 近藤 和義 三宅 英子
- 川名ゆうじ 与座 武
- 寺山光一郎

◎印 委員長 ○印 副委員長

問 幼児教育相談室、教育相談所、訪問相談室を統合し、教育支援センターを設置した理由は、

答 相談事業について、より機動的な高い機能を求めたためである。従来の相談に加え臨床心理士の学校派遣事業、適応指導教室の設置など、よりきめ細かく相談に応じている。

問 小学校全校が実施した、プレセカンドスクールの意義は、

答 セカンドスクール充実検討委員会等で協議し、長期宿泊に対する不安解消、集団生活への意識づけを目的に実施した。

問 「きょういく武蔵野」を刷新した理由は、

答 公教育の広報の充実を目的に、見やすく、親しみやすい紙面づくりを検討した。

問 市民大運動会を毎年実施する意義を伺う。

答 市内各地域より市民が集い、交流を深めるという点で意義があると考えているが、従来からの課題である地区実行委員の負担の

問 森ヶ崎水再生センター建設負担金十七億円の市債の返済の見込みについての考えは、

答 下水道事業会計で返済できるものと考えている。

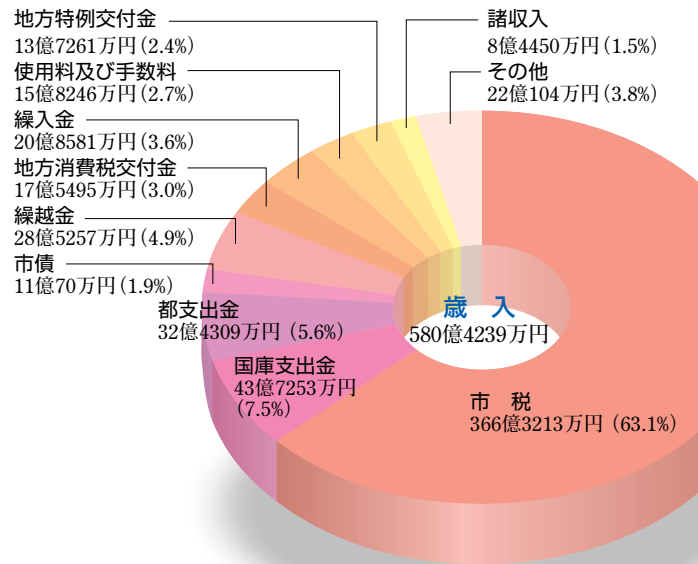
問 合流式下水道改善施設設置の予算三千万円に対し、執行額が三百万円程度であった理由は、

答 当初、機械式の設置を考えていたが、安価な渦流式が開発され、設置できたためである。

教育費

教育費

平成17年度一般会計歳入歳出



問 下水道事業会計で返済できるものと考えている。

問 合流式下水道改善施設設置の予算三千万円に対し、執行額が三百万円程度であった理由は、

答 当初、機械式の設置を考えていたが、安価な渦流式が開発され、設置できたためである。

問 森ヶ崎水再生センター建設負担金十七億円の市債の返済の見込みについての考えは、

答 下水道事業会計で返済できるものと考えている。

問 合流式下水道改善施設設置の予算三千万円に対し、執行額が三百万円程度であった理由は、

答 当初、機械式の設置を考えていたが、安価な渦流式が開発され、設置できたためである。

下水道事業会計

下水道事業会計

問 審査に付された各会計の歳入歳出決算書及び付属書類は、法令に準拠して作成されており、決算の計数は、関係諸帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りはないものと認められた。

また、これらに伴う会計事務処理は法令等に従って適正に執行されており、さらに基金の運用状況を示す書類の金額は、基金出納簿及び証拠書類と符合し、計数は正確なものと認められた。

今後の市政運営を展望したとき、市民の安全・安心の確保、少子高齢社会への備え、社会資本の整備・更新など、多くの財源を必要とする課題を抱えている。市民の要請にこたえてその機能を適切に果たし、持続可能な市政をつくるために、引き続き、徹底した行財政改革に取り組みとともに、財源の充実確保に努められるよう要望する。

（下水道事業会計）

審査に付された決算諸表は、地方公営企業法その他関係法令に準拠して作成されており、その計数は正確であり、関係諸帳簿と合致していることを確認した。

また、決算諸表は、水道事業の経営成績及び財政状況を適正に表示しているものと認められた。

監査委員 内田 博/鈴木有臣

問 審査に付された各会計の歳入歳出決算書及び付属書類は、法令に準拠して作成されており、決算の計数は、関係諸帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りはないものと認められた。

また、これらに伴う会計事務処理は法令等に従って適正に執行されており、さらに基金の運用状況を示す書類の金額は、基金出納簿及び証拠書類と符合し、計数は正確なものと認められた。

今後の市政運営を展望したとき、市民の安全・安心の確保、少子高齢社会への備え、社会資本の整備・更新など、多くの財源を必要とする課題を抱えている。市民の要請にこたえてその機能を適切に果たし、持続可能な市政をつくるために、引き続き、徹底した行財政改革に取り組みとともに、財源の充実確保に努められるよう要望する。

（下水道事業会計）

審査に付された決算諸表は、地方公営企業法その他関係法令に準拠して作成されており、その計数は正確であり、関係諸帳簿と合致していることを確認した。

また、決算諸表は、水道事業の経営成績及び財政状況を適正に表示しているものと認められた。

監査委員 内田 博/鈴木有臣

水道事業会計

水道事業会計

監査意見書

監査意見書

問 審査に付された各会計の歳入歳出決算書及び付属書類は、法令に準拠して作成されており、決算の計数は、関係諸帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りはないものと認められた。

また、これらに伴う会計事務処理は法令等に従って適正に執行されており、さらに基金の運用状況を示す書類の金額は、基金出納簿及び証拠書類と符合し、計数は正確なものと認められた。

今後の市政運営を展望したとき、市民の安全・安心の確保、少子高齢社会への備え、社会資本の整備・更新など、多くの財源を必要とする課題を抱えている。市民の要請にこたえてその機能を適切に果たし、持続可能な市政をつくるために、引き続き、徹底した行財政改革に取り組みとともに、財源の充実確保に努められるよう要望する。

（下水道事業会計）

審査に付された決算諸表は、地方公営企業法その他関係法令に準拠して作成されており、その計数は正確であり、関係諸帳簿と合致していることを確認した。

また、決算諸表は、水道事業の経営成績及び財政状況を適正に表示しているものと認められた。

監査委員 内田 博/鈴木有臣

水道事業会計

水道事業会計

9月29日の本会議で決算に対する各会派の賛否の討論が行われました。以下はその要旨です。このほかに、会派に属さない山本議員の①②に賛成する討論もありました。なお、各会派の構成は6面に掲載しております。決算特別委員会の詳しい内容を、以下の会議録またはインターネット議会議中継のホームページでご覧いただけます。

会議録 <http://asp.db-search.com/musashino-c/>

インターネット議会議中継 <http://www.musashino-city.stream.jfit.co.jp/>

また、各市立図書館、コミュニティセンター、市役所の市政資料コーナーにおいても11月下旬以降会議録を閲覧することができます。

① 平成17年度武蔵野市決算の認定について ② 平成17年度武蔵野市水道事業会計決算の認定について

決算に対する各会派の討論

むさしのリニューアル

市長交際費の削減などスリム化を打ち出した決算

三宅英子議員

①② 賛成

昨年10月に邑上市長が就任した後、市長・市役所交際費からの香典の支出を廃止し、支出基準を明確化して公費支出に対する自らの姿勢を示したこと、これまで10人以上いた専門委員を大幅に縮小した点、市民意見募集に対して行政側の回答を公表し始めた点、派手なイベントをスリム化したことなどを評価する。今までの総花的な市政運営を見直し、財政運営に危機感を持ち、優先順位をつけた今後の事業展開を要望し、決算に賛成する。

市議会公明党

市長交代の状況において支出の効率化に努めた決算

小野正二議員

①② 賛成

平成17年度は、第四期基本構想・長期計画の初年度であり、また途中で市長が交代する状況で、市長不在の時期は予算執行が難しかったと考えるが、限られた財源を効率的、効果的に配分し、支出の効率化など内部努力が十分に反映された決算で、適正に執行されたと評価する。なお、決算特別委員会での行政側の答弁が、検討・研究など、いつまでも結論を出すのか曖昧であったことを指摘しておく。今後とも質の高い行政サービスの水準を期待する。

市議会市民クラブ

行財政改革へ、市長はリーダーシップの発揮を

寺山光一郎議員

①② 賛成

平成17年度は、防災安全センター（仮称）の建設、健康づくり支援センター等の設置、乳幼児医療費助成制度の所得制限撤廃等、おむね予算が適正に執行され、財政面も健全性は保たれているが、少子高齢化社会を迎え、徹底した行財政改革に取り組み、財源確保に努められたい。一方、督促状の印影印刷ミス等、庁内の人事管理が甘くなっていることを指摘し、また、政治的判断が必要なきははっきりと市長が答弁することを要望し、賛成する。

日本共産党武蔵野市議団

評価すべきは評価し、市民の負担増には改善を求める

本間まさよ議員

①② 賛成

予算執行に当たり、市民参加・コスト削減・緊急時の対応という視点から、環境基本計画の策定、農水省跡地のオープンハウスやタウンミーティングの実施、市長退職金や市長・市役所交際費の削減、水害対策、災害見舞金の改定などが行われた。さらに邑上市政の平和行政に取り組む姿勢を高く評価する。反面、介護保険利用料の低所得者減免、現金給付に対する見解、国税の値上げ等については、市民の暮らしを守る立場から改善・見直しを求める。

民主・市民ネット

生活者主権の社会を見据えた行政評価手法の確立を求む

川名ゆうじ議員

①② 賛成

平成17年度は前市長の突然の辞職、職務代理者による市政運営を経て邑上新市長が誕生した年であり、本市にとって大きな転換期となったが、三位一体改革による財政状況の不透明な中、市政運営はおおむね適正になされたと評価する。一方、税制フレームワークの改革や行政評価手法の本格的確立などについては大きな変更がなく、今後に期待したい。時代を敏感にとらえ、適切な政策を選択・実行していただくことを求め、決算の認定に賛成する。

自由民主クラブ

議会での議論を尊重し、丁寧な行政運営を

島崎義司議員

①② 賛成

平成17年度は、突然の市長交代により激動の年となった。邑上新市長は、武蔵野プレイスの強引な縮小計画、長期計画の拙速な見直し問題、公有地取得機会の逸失等、独善的な行政運営手法により市政を混乱させた。しかし、事業・施策については、第四期長期計画に基づき、安全・安心対策、まちづくり、商店街振興等、着実に取り組まれたものと評価する。今後、議会での議論を尊重し、丁寧な行政運営を行うことを期待して、決算の認定に賛成する。

一般質問

第3回定例会で初日より3日間の9月6日、7日、8日に、市政全般について、21名の議員から一般質問が行われました。この中から質問項目を要約して掲載します。詳しくは、各市立図書館、各コミュニティセンター、市役所の市政資料コーナーに置いてある会議録(11月下旬発行予定)、または武蔵野市議会ホームページの会議録検索(第3回定例会分は11月20日登録予定)、インターネット議会中継でご覧いただけます。



※一般質問とは、議員がその属する地方公共団体の行政全般にわたり、執行機関に対し、事務の状況及び将来に対する方針等について所信を質し、あるいは報告を求め、または疑問を質すことをいいます。

詳しい内容はこちらのアドレスから検索いただけます。

会議録：<http://asp.db-search.com/musashino-c/>

インターネット議会中継：<http://www.musashino-city.stream.jfit.co.jp/>

大事なことは市民と決めたのか

金子 武議員

問 邑上市長は、市長選挙以来「大事なことは市民と決める」と主張してきたが、この言葉は市長としての責任をあいまいにしていると考えている。市長はこの一年で、どのような大事なことを、どのような市民とどのような方法・機会を決めてきたのか。

答 タウンミーティングで市民の意見を聞き、市政の根幹を定める調整計画策定では公募市民による市民会議を立ち上げた。また、議会からご意見や議決をいただくことも最も大事な市民参加だ。今後も幅広く意見を伺いその上で施策を進めていきたい。

このほか、契約先選定における価格面以外の評価等についての質問がありました。

誰もが実感できる具体的子育て支援施策を提言する

松本清治議員

問 都内他区市と比較しても少子化が進む本市に提言したい。①私立幼稚園入園料補助額、日額養育費助成額を増額すべきではないか②一定の効果をあげた保育園「涼」環境創出事業であるが、全園実施は時間とコストがかかるため、クーラーの設置を各園の状況により選択制にすべきではないか。

答 ①他市との均衡も考え、整理・研究したい②「涼」環境創出事業も継続しながら、近年の異常気象等にも対応してクーラー設置も前向きに検討したい。

このほか、小1プロブレム等への対応、中学校部活動の現況、市民野球場の管理・改善についての質問がありました。

福祉三団体の再編議論には、実態把握と市民・利用者の声の反映を

小林清章議員

問 福祉三団体ワーキングチーム報告書では、福祉公社の発展的解散が結論づけられているが、再編議論の前提に、市の理念や方針の明示と詳細な実態把握が必要ではないか。また、市民・利用者の声をどのように反映するつもりか伺う。

答 有識者会議を設置し検討をお願いしているが、現場の実態をさらにお伝えする。公社廃止ありきではない。また、中間的なまとめが出された時点で、市民意見を募集する予定である。

このほか、法政一中・高校跡地及び周辺のまちづくり、屋上緑化に関する質問がありました。

一層元気な吉祥寺のまちづくりを目指して

桑津昇太郎議員

問 商店街を中心とした魅力ある吉祥寺のまちづくりのために、①商業振興のための予算の内容を伺う②行政としてのかかわり方について見解は。

答 ①ウエルカムキャンペーン、まち案内所、アニメフェスティバル等に3億1,100万円予算計上している②吉祥寺ランドデザイン委員会でも議論しているが、基本的には個店の自助努力に期待し、個店の魅力向上のための、アドバイザー派遣、マイスターショップ認定制度等の支援を行っていききたい。

このほか、東部地域の浸水対策、道路問題、法政跡地問題等の質問がありました。

高さ制限を含む住民提案の地区計画で住環境保全を

山本ひとみ議員

問 まちづくり条例制定を検討する上で、①開発行為等をどのように規制するのか②吉祥寺東町住民の地区計画案の高さ制限について、業者の損害賠償提訴を心配しているが、勝訴するよう頑張るべきではないか。

答 ①事業者と近隣住民との協議の実効性確保のため、ペナルティー等は必要だ②事実上の財産権侵害との見解もあり、慎重に対応したい。

問 介護保険利用料の7%助成が廃止され、低所得者への5%助成に変更された。廃止の方針を見直し、7%助成の復活を求める。

答 復活する考えはない。現金給付の方式から必要なサービスの充実へシフトしたい。

子どもの心に自由と権利に伴う義務と責任感を育てるには

寺山光一郎議員

問 現代の日本は無責任の中の豊かさにあると言っても過言ではない。この中で子どもたちの心に責任感を育てるためには、幼少時から責任感が身につくカリキュラムをつくるべきではないか。

答 さまざまな学びや体験を通して、子どもたちが義務や責任について学ぶ場や機会を充実させていきたい。

問 末広通りの電柱地中化及びカラー舗装化は吉祥寺南町コミュニティセンター、前進座の前まで行うべきではないか。

答 延伸の可能性を研究していきたい。このほか、児童虐待、セカンドスクール、放置自転車等についての質問がありました。

協働の推進市のアプローチを問う

砂川なおみ議員

問 行政だけでは解決できない多様化、個別化する地域の課題に対し、NPO・行政間の協働による取り組みや、情報の相互交流・多様で重層的なネットワークの形成が重要と考えるが、①協働について市長の見解は②NPOと行政が継続して協議できる場を求めるが③活動拠点としてサポートセンター等の整備が必要ではないのか。

答 ①市民自治の原点であり必要な取り組みだ②NPO活動促進基本計画策定委員会の議論をまちたい③必要性は認識している。同委員会からの報告を受けて検討したい。

このほか、介護保険の制度改革に対する市の対策等についての質問がありました。

女性総合相談窓口を位置づけ、女性施策のさらなる充実を

田辺あき子議員

問 本市の女性施策のさらなる拡充に向けて、暴力・人権・就労・健康・子育てなどさまざまな面を支援する女性の総合相談窓口の機能が求められているが、市の見解は。

答 現在、女性総合相談窓口の機能はないため、改めてヒューマン・ネットワークセンターの位置づけを検討し明確にしたい。

問 働く保護者より、①病後時保育室の拡充②3歳児健診等を月1回は休日に行う等の工夫を、との要望が多い。市の対応は。

答 ①既存施設の利用率アップに向けPRする②医師会と相談するなど検討したい。このほか、介護予防、災害情報メール配信サービスについての質問がありました。

高齢者と子どもが生き生きと生活できる施策の推進を

土屋美恵子議員

問 介護予防事業は重要だと考えるが、健康づくり支援センターのプログラム等について伺う。

答 筋力向上トレーニング、生活習慣改善教室等を実施している。今後とも継続・充実していきたい。

問 産後支援ヘルパー派遣事業(試行)の本格実施、産前派遣、対象・利用日数の柔軟な対応が必要と考えるがいかがか。

答 今年度、事業の所管替えをして体制を整備した。アンケート結果等を参考に、事業内容、運用方法について工夫したい。このほか、地域社協の拠点、児童の放課後対策等についての質問がありました。

学童クラブ、地域子ども館の将来ビジョンは

小野正二議員

問 新聞報道によると、文部科学省と厚生労働省は来年度から全国の公立小学校で放課後も児童を預かると決めた、とあるが、①学童クラブと地域子ども館の統合という形態をとるように見えるが、本市の考えは②学童クラブの障害児保育はそのまま継続させるのか③国の方針であるこの放課後教室事業の今後のスケジュールを伺う。

答 ①イベント等で一緒にできるものは、どのような連携が可能か検討したい②障害児の受け入れを小学校4年生まで拡大したが、当面はこの方向で考えている③まだ詳細を把握しておらず、情報提供がされた後に、スケジュールを立て検討していきたい。

境山野公園の取得と武蔵境駅周辺のまちづくり

田中節男議員

問 中央線高架事業完成後の境駅周辺のまちづくりについて、①通過車両を生活道路に入れないための対応策は②南北通行によって大型店が与える商店街への影響を考えた、商店街づくりに役立てるため、消費者行動予測調査を早急に実施する考えはあるか。

答 ①道路整備スケジュールが具体化した段階で対応を検討したい②必要に応じアンケートやヒアリングの実施を検討したい。

問 地主の相続の発生により、①境山野公園、第3しろがね公園の譲渡の申し入れが市にあったと聞く。取得を②市が借りる第2しろがね公園、市民会館敷地について考えは。

答 ①確保したい②当面、借りる方向だ。

武蔵野市が目指す「観光」を問う

与座 武議員

問 観光推進計画の策定に際し、その前提として、新しい概念である「都市観光」とは何か、武蔵野市が目指す観光とは何かを、市民に説明するべきではないか。

答 都市観光とは地域の特徴あるまち並み等の観光資源を保護・整備し、他の地域の人にも楽しんでもらうことである。本市でもまず市民が楽しむ場を整備し、市外の方にも楽しんでもいただける交流の場とし、あわせて経済効果をねらっていく。

問 誤報により消防団員が火災出動した場合にも、手当を支給するべきではないか。

答 消防団の意向や他市の状況を踏まえ、前向きに検討したい。

マンションの耐震診断・改修の助成額増を求む

梶 雅子議員

問 本市の全住宅戸数の2割弱、持ち家の5割はマンションが占めており、既存不適格建造物の耐震性強化や密集市街地の防災対策が強く求められている。横浜市ではマンションの耐震診断・改修に手厚い補助をしているが、市内マンションの耐震助成制度について、①耐震診断助成の利用実績がない原因は②耐震診断助成や耐震改修助成の増額を求めるが見解は。

答 ①高額な費用や意識の温度差等が原因と考える②国や都の動向を見て検討したい。
このほか、介護保険の制度改革に対する市の助成、旧近鉄本館の改修に伴うアスベスト除去工事等についての質問がありました。

特殊勤務手当について現実的議論をせよ

やすえ清治議員

問 公務員の特殊勤務手当について、市長は全廃の意向を表明しているが、①内容を精査した上で全廃と考えているのか②いまだ廃止の方向性が明示されていない理由は。

答 ①必ずしも全廃にこだわらず、全廃を一つの目標として市民の理解、職員の士気を考慮し検討する②組合と合意に至らなかった。各部署の状況を調査し改めて交渉する。

問 能力給の導入についても、いまだ経過・方向性が不透明である。実現に向けてのスケジュールを具体的に伺う。

答 能力給導入には評価制度の確立が不離一体である。国・都・民間の制度を参考にし、本市にふさわしい評価制度を確立したい。

高齢者を初めとした負担増に対して市独自の軽減策を

本間まさよ議員

問 公的年金等控除の縮小、老年者控除の廃止等により、住民税が数倍から10数倍になった高齢者が多数いるが、一連の負担増に対する市長の見解と、市の対策を伺う。

答 我が国が少子・超高齢社会を迎えるに当たり、高齢者の方にも応分の負担をしていただく必要があると考えている。市民にわかりやすい説明をして理解していただくことが第一だが、大変な負担であることは認識しているので、何らかの生活支援策を検討していきたい。

このほか、銭湯への支援策、利用登録自転車駐車場の市民枠、ムーバス新路線の運行についての質問がありました。

福祉三団体の再編案に武蔵野市は説明責任を果たせ

三宅英子議員

問 福祉保健部所管三団体調査研究ワーキングチーム報告書は、再編という、市長が決断するにしても非常に難しい結論を出しているが、①主任クラスの職員などがまとめたこの報告書について市長の見解はどうか②報告書をまとめる前に、なぜ福祉三団体へのヒアリングを行わなかったのか。

答 ①この報告書は、一つのたたき台という認識で、市の決定ではない②再編というかなり難しい問題について、若手中心のメンバーに当事者から意見を聞く役割を与えるのは非常に困難だと判断した。

このほか、財政援助出資団体のあり方、有機リン系殺虫剤散布の質問がありました。

平和施策のさらなる推進を

向谷千鳥議員

問 原爆の悲惨さを追体験し、平和を追求するため、①中高生を広島、長崎に派遣する考えは②憲法を暮らしに生かす視点で、かつて、本市が発行した「子どもとおとなの日本国憲法」を復刊し、配布する考えは。

答 ①教育委員会とも協議し、研究したい。②ホームページに掲載している。現時点で市として発行する考えはない。

このほか、三鷹駅北口における開発構想について、歩行者の安全確保のため、大正通りのガードレールや歩道内の電柱等の整理など改善を求めることについての質問がありました。

納税者の立場に立った市民税通知を

大野まさき議員

問 国の税制改正に伴い税額がふえ、納税者から苦情等が多く寄せられたが、わかりやすい通知方法の見直しを行なったのか。

答 昨年度発足した庁内プロジェクトチームを再編し、わかりやすい広報手段や内容の充実を図り、通知書類を改善したい。

問 納税者が自らの納付額を計算して導くことのできる計算手引書を作成できないか。

答 わかりやすい手引書の作成や、モデルケースのホームページ掲載等を研究したい。

問 保育園へのクーラー設置について伺う。

答 来年度以降の設置を前向きに検討する。
このほか、戸籍事務処理、公益通報の条例化等についての質問がありました。

福祉ビジョンの今後を伺う

川名ゆうじ議員

問 本年は介護保険や税制の改正、福祉三団体の再編検討、介護保険の7%助成廃止等、今後の福祉ビジョンが問われる年と考えるが、①本市の福祉の特徴を伺う②影響を受ける市民への本市の対応は③福祉三団体は再編検討後、どうあるべきと考えるか。

答 ①先駆的な福祉行政の展開と、それを支える市民のボランティアが特徴だと考える②助成面、補助面では厳しいが、福祉を後退させないよう工夫を重ねた施策を展開していきたい③市民が求めるサービスをより充実させるための仕組みをつくりたい。

このほか、学童クラブの保育指針、公益情報通報制度等についての質問がありました。

学校こそ最も大切な教育の場本市の教育力に期待する

きくち太郎議員

問 家庭における経済格差とともに教育力の差も広がっていると言われるが、各学校において、①保護者に負担がかからない学習方法の指導をしているか②家庭の教育力の差を現場ではどう捉えているか。

答 ①学習支援教室等により対応する②学力の問題、生活指導の問題、人格形成の課題等、個々の問題として捉え、対応する。

問 本市の平和教育において、空襲の史実等を語り継ぐ取り組みは行われているのか。

答 各校で体験者への聞き取りなど実施しているが、さらに地域で取り組みを広げたい。
このほか、戸籍事務処理電算化に伴う市民サービス向上についての質問がありました。



●8月21日、総務委員会及び委員外議員が、武蔵野市防災・安全センター（仮称）等西棟増築工事における免震装置を視察しました。この工事は、現在2階建ての市役所西棟に免震装置を設置して8階建てに増築するもので、平成18年1月に着工しており、平成19年5月に竣工の予定です。

議案等審議結果一覧

第3回定例会

【市長提出議案(16件)】

- 武蔵野市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例 ……可決 (全会一致)
- 武蔵野市一般職の職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例 ……可決 (全会一致)
- 武蔵野市非常勤消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例 ……可決 (全会一致)
- 武蔵野市学童クラブ条例の一部を改正する条例 ……可決 (全会一致)
- 武蔵野市ひとり親家庭の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例 ……可決 (全会一致)
- 武蔵野市国民健康保険条例の一部を改正する条例 ……可決 (賛成多数)
- 武蔵野市消防団に関する条例の一部を改正する条例 ……可決 (全会一致)
- 武蔵野市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例 ……可決 (全会一致)
- 市道路線の認定について ……可決 (全会一致)
- 武蔵野市コミュニティバス「ムーバス」用自動車の買入れについて ……可決 (全会一致)
- 平成18年度武蔵野市一般会計補正予算(第2回) ……可決 (全会一致)
- 平成18年度武蔵野市国民健康保険事業会計補正予算(第1回) ……可決 (全会一致)
- 平成18年度武蔵野市介護保険事業会計補正予算(第1回) ……可決 (全会一致)
- 平成17年度武蔵野市決算の認定について ……認定 (全会一致)
- 平成17年度武蔵野市水道事業会計決算の認定について ……認定 (全会一致)

【継続審議分】

- 武蔵野市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例…可決 (全会一致)

【議員提出議案(4件)】

- 出資法の上限金利引き下げに関する意見書 ……可決 (全会一致)
- 私立小・中学校就学者に対する教育費助成に関する意見書 ……可決 (全会一致)
- 議案第72号武蔵野市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例に関する付帯決議 ……可決 (全会一致)
- 戸籍情報システムの安全性に関する意見書 ……可決 (全会一致)

陳情審議結果

- **採択**
 - 出資法の上限金利引き下げに関する陳情
 - 市内在住の私立小・中学校就学者に対する教育費助成に関する陳情
 - 意見付採択**
 - 私立泉幼稚園跡地購入に関する陳情
 - 福祉三団体再編に関する陳情(同件ほか二件)
 - 福祉公社の存続に関する陳情
 - **不採択**
 - 旧農水省跡地利用計画の見直しに関する陳情(※)
 - 旧「農水省跡地利用施設建設基本計画策定委員会」の議事進行についての疑問解明に関する陳情(※)
 - 議事録掲載の迅速化に関する陳情
 - **継続**
 - 「浜岡原発震災」における子どもと妊婦のための放射能災害対策に関する陳情
 - 武蔵野市長が内閣総理大臣に、「市民の生命を守るため一刻も早く浜岡原発全基を止めよ」の要請書を提出することに関する陳情
 - 障害者自立支援法に関する陳情
 - **取り下げ**
 - 障害者自立支援法に関する陳情
 - 旧近鉄百貨店事務所棟及び隣接地(住居表示吉祥寺本町1丁目22番)を市が購入することに関する陳情
- (※)は継続審査となっていました。

第3回定例会で可決された意見書・決議は4件で、意見書については政府等へ提出されました。

政府・都への

意見書

出資法の上限金利引き下げに関する意見書

(衆議院・参議院・内閣総理・総務・金融担当大臣あて)

私立小・中学校就学者に対する教育費助成に関する意見書

(財務・文部科学大臣・東京都知事あて)

戸籍情報システムの安全性に関する意見書

去る九月七日、富士ゼロックスシステムサービス株式会社の協力会社社員が、戸籍情報とおぼしきデータを流出し、同社への脅迫容疑で逮捕された。

当市においては、戸籍情報システム稼働を十月二日の目前に控え、やむなく稼働時期の延期を行ったが、市民と武蔵野市役所の信頼を著しく

損ない、社会的不安を引き起こした責任は深刻かつ重大である。

また、同社が開発した戸籍情報システムは、戸籍事務のコンピュータ化を実施している自治体の六割が使用していると言われており、今回の事件の影響は全国に及ぶことが心配される。

武蔵野市議会は、一日も早い事件の解決と、戸籍情報システムの安全な稼働を願い、早急に次の事項について対応するよう要望する。

一、戸籍事務は国の法定受託事務であり、国民が戸籍情報システムを安全で安心して利用できるような、戸籍情報の漏えいなど広域的な事件が発生したときは、国は直ちに責任をもって改製作業やシステム全般のセキュリティ対策を検証し、受託業者に対する指導と国民への説明責任を果たすこと。また、セキュリティ対策項目のレベルアップを図ること。

決議

議案第七十二号武蔵野市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例に関する付帯決議

武蔵野市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の施行に当たっては、他の特別職との整合を図るため、特別職報酬等審議会に諮問すること。

インターネット議会中継をご覧ください



議会中継ホームページ



議会中継の様様(写真は本会議の録画中継の一部)

インターネット議会中継ホームページにアクセスする手順

武蔵野市ホームページから → 市議会 → インターネット中継の順にクリックしてください。

また、直接アクセスする場合は以下のアドレスから <http://www.musashino-city.stream.jfit.co.jp/>

会派名簿

会派とは、市政について、同じような考えや意見を持っている議員のグループで、議会活動の1つの基盤となります。(氏名は議席番号順、電話番号は会派控室(市役所7階)の直通電話番号です。)

自由民主クラブ TEL 60-1884 やすえ 清治 きくち 太郎 島崎 義司 近藤 和義 鈴木 有臣 田中 節男 井口 良美 石井 一徳 金子 武	市議会公明党 TEL 60-1887 小林 清章 小野 正二 田辺 あき子
民主・市民ネット TEL 60-1889 松本 清治 砂川 なおみ 川名 ゆうじ 深沢 達也 露木 正司 水野 学	日本共産党武蔵野市議団 TEL 60-1888 梶 雅子 向谷 千鳥 本間 まさよ
市議会市民クラブ TEL 60-1885 山下 倫一 土屋 美恵子 与座 武 桑津 昇太郎 寺山 光一郎	むさしのリニューアル TEL 60-1890 三宅 英子 大野 まさき
無会派議員 TEL 60-1886 桜井 和実	無会派議員 TEL 60-1909 山本 ひとみ

※それぞれの議員への連絡先については、「わたしの便利帳」や本市議会ホームページをご覧ください。

議会事務局 TEL 0422-60-1883 E-Mail OFC-GIKAI@city.musashino.lg.jp
HomePage <http://www.city.musashino.lg.jp/cms/gikai/>

1面写真募集要領 次回の締切12月15日

- **規 格** : 六つ切(紙焼き)、カラー。二重応募(他のコンテスト等に応募した作品の応募)は禁じ、未発表・未公開のオリジナル作品に限ります。写真は編集上、トリミングすることがあります。また、応募された作品は、返却いたしませんのでご了承ください。
 - **著 作 権** : 作品の著作権は製作者本人に帰属します。ただし、6カ月間、他媒体での発表等をご遠慮いただくことを、作品採用の条件といたします。
 - **期 限** : 12月15日(金)当日消印有効
 - **添付書類** : 撮影者の住所・氏名・年齢・電話番号・撮影年月日・撮影場所・作品名を写真裏面に記載し、郵送にてご応募ください。なお、採用された場合、後日作品のコメントをいただくことがあります。
 - **内 容** : 武蔵野市内の風景(明らかに人物を特定できる場合は、ご本人の了承を得てください)。
 - **宛 先** : 〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28 武蔵野市議会事務局 市議会だより係
 - **審 査** : 議会広報委員会が審査します。
 - **発 表** : 採用された作品は、平成19年2月1日発行の市議会だよりに掲載します。
 - **問 い 合 せ** : TEL 0422-60-1883
- ※賞品等はありませんのでご了承ください。